

Kiicutter
取扱説明書

ご案内

はじめに

本ソフトウェアは、ベニヤ板、鉄板、ガラス板といったパネルを経済的に切断する割り当て方を考えるために開発されました。

パネルのサイズ、切り出したい部品のサイズ、枚数を入力することで、必要なパネルの枚数とそれぞれの切断の仕方を計算し、グラフィックで表示します。

複数の定型サイズのパネルから最適な組み合わせを探し出すこともできます。

本ソフトウェアは、USBプロテクトキーが未装着の場合、体験版として動作します。

操作方法は至って簡単ですので、ぜひお試しください

著作権と利用条件

- 本ソフトウェアの著作権は、有限会社うえざと木工が所有します。
- 本ソフトウェアを利用した事または利用できない事によって生じた如何なる損害に対しても著作者は一切の責任を負わないものとします。
- 本ソフトウェアにバグなどの不備があった場合に 著作者は訂正する義務を負いません。（訂正の為に努力しますが、お約束は出来ません。）
- 本ソフトウェアの利用は、すべて利用者の責任下において行ってください。

動作条件

対応OS : Microsoft Windows 8.1/10/11

- 64bit版OSでは、WOW64エミュレーション環境で動作します。
- 対応OSは、購入時点のものです。ご購入後、Windowsアップデート等により環境そのものに変更があった場合は、対応OSが変更となる可能性があります。
- 別途「VB6ランタイム」が必要になる場合があります。

インストール

本ソフトウェアは、Windowsの標準的な機能である「Windowsインストーラー」に準拠したインストールプログラムによって導入されます。インストールプログラム (kiicutter_setup.exe) を実行し、表示される手順に従って処理を完了してください。

インストールが正常に終了すれば、Windows のスタートメニューに「Kiicutter」が登録されます。

なお、すでに旧バージョンがインストールされている環境にて新しいバージョンをインストールすると、自動的に上書きインストールされます。

ただし、何らかの原因によって正常に上書きされない場合は、一度旧バージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。

アンインストール

本ソフトウェアのインストールは、Windowsの標準的な機能である「Windowsインストーラー」を利用して行われます。よって、本ソフトウェアのアンインストール手順は、Windows の標準的な作法に基づいています。

具体的な手順については、お使いの Windows のバージョンによって微妙に異なりますので、詳しくは Windows のマニュアルをご覧ください

以下、Windows 11におけるアンインストールの手順例を示します。

1. Windowsの「スタート」をクリックし、本ソフトウェアのショートカットを見つけます。
2. 本ソフトウェアのショートカット上で右クリックメニューを表示し、[アンインストール]を選択します。

使い方

初期画面

初めに、パネルサイズの寸法、カットサイズの寸法と枚数を入力してください。金額も計算したい場合は、パネルの金額も入力します。

次に、ボタン[自動割当て印刷]または[手動で割当てしてから印刷]を押します。

印刷の際、パネル姿図内における「カット番号、寸法、コメント」の表示方法を選択します。
※ 選択肢のうち「全て表示」と「被り抑制表示」は挙動が似ています。
両者は、文字同士が重なったりパネル姿図内から文字がはみ出る場合の処理方法に違いがあり、「被り抑制表示」の場合は表示が省略されます。
なお、文字同士が重なる場合の表示先順位は、カット番号>寸法>コメントとなります。

パネルサイズを入力します
メニュー「オプション (O) ・金額を表示 (P)」にチェックを入れている場合は、金額も入力します。

パネルサイズ (高さ) 920 (幅) 940 (金額) 複数パネル 切断幅 1.5 単位 縦横自由カット
カット番号 寸法 コメント 全て表示 全てに適用

パネルサイズを入力します
メニュー「オプション (O) ・金額を表示 (P)」にチェックを入れている場合は、金額も入力します。

切り出す部品のサイズと枚数を入力します。最大200種類まで入力できます。

ノコなどで削られる幅を指定します。

パネルの木目や柄などにより、順方向にしか利用できない場合は「適用しない」を、縦/横どちら向きに切っても構わない場合は「全てに適用」を、カットサイズごとに指定する場合は「個別に指定」を選択します。

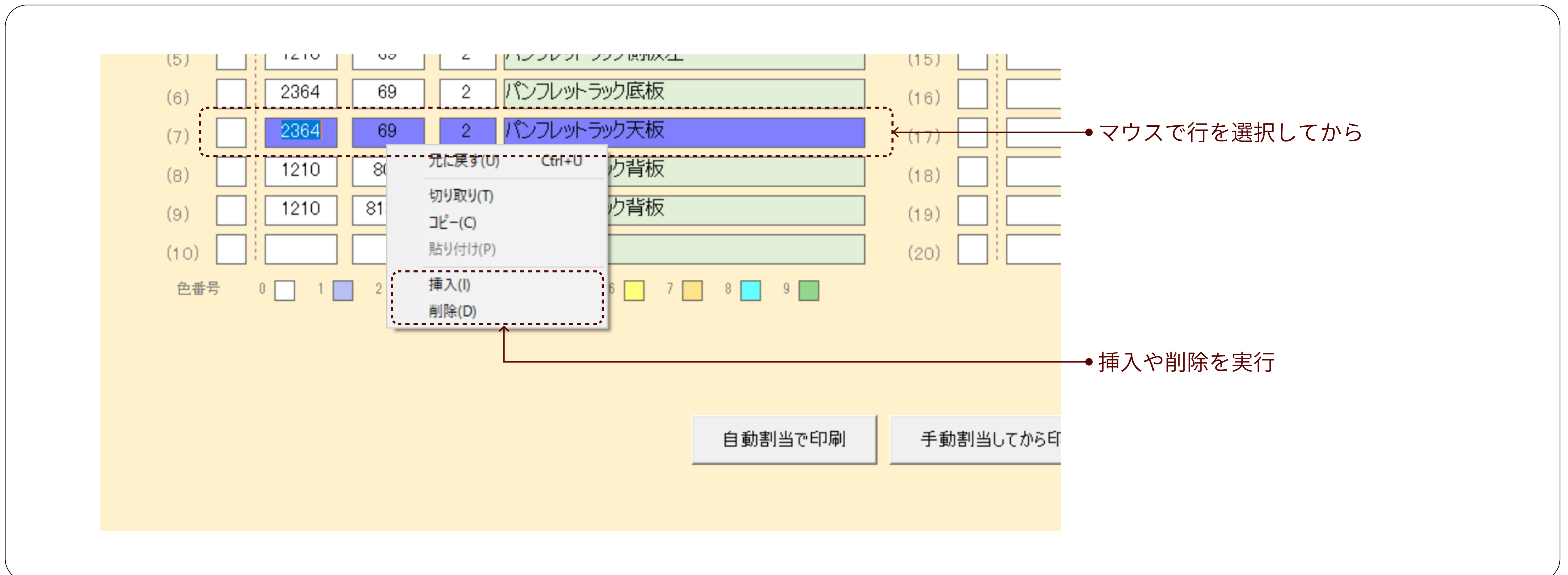
ボタン[自動割当て印刷]を開始すると、一覧表示画面 (6ページ) が表示されます。ただし、データ数が多いと、表示までに非常に時間がかかる場合があります。

この場合は、画面左下に出現するボタン[強制終了]を押す事で、区切りの良いところで計算処理を中断し、それまでに計算した中でもっとも最適な結果が表示されます。

ボタン[手動で割当てしてから印刷]を押下すると、手動割当て画面 (9ページ) が表示されます。

レコードの挿入と削除

カットサイズを入力する位置で、マウスの左ボタンを押しながらドラッグすると、行全体を選択することができます。
この状態でマウスの右ボタンを押すと、行の挿入や削除、コピーなどの編集機能を利用できます。



複数パネルについて

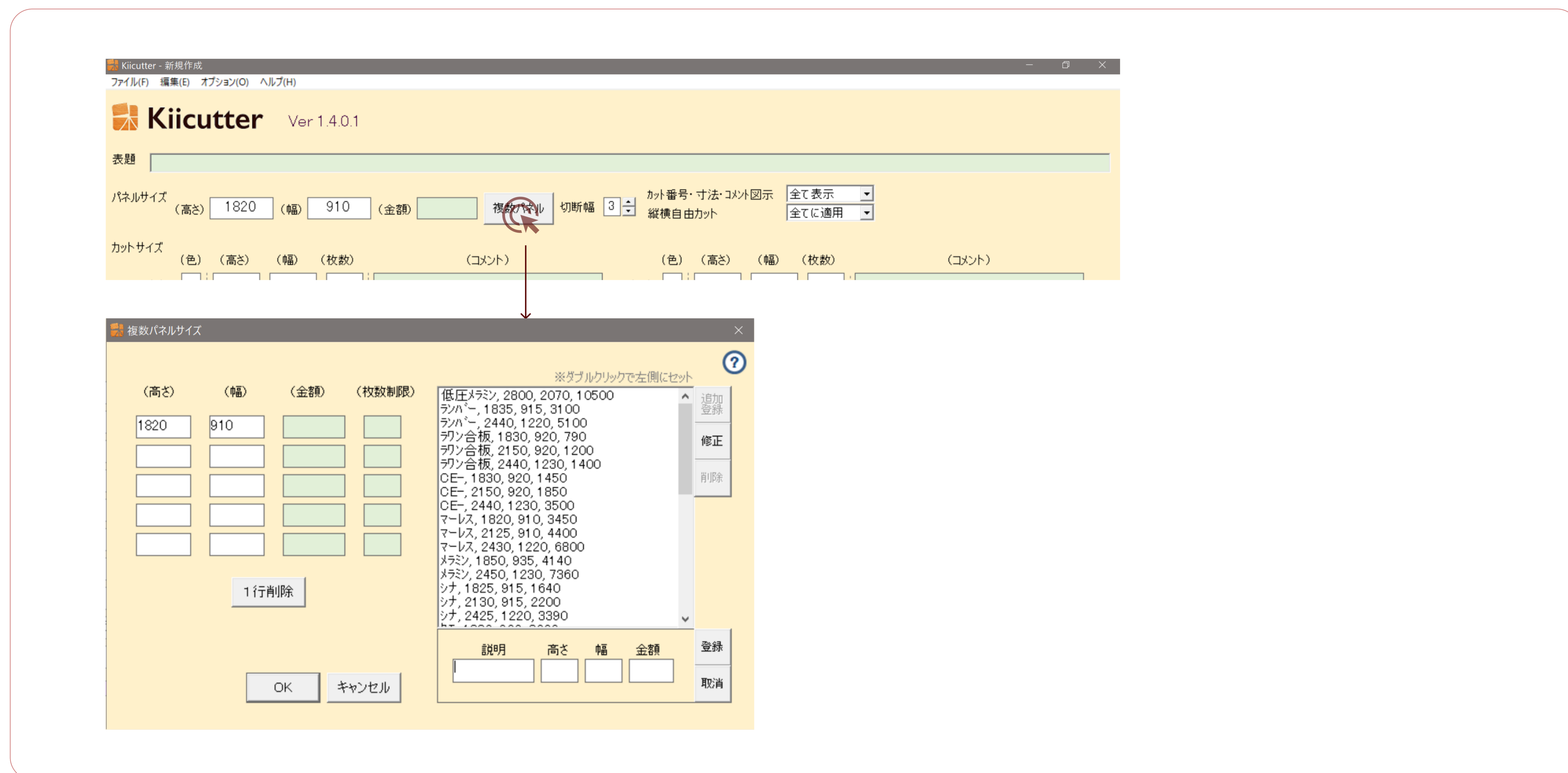
ボタン[複数パネル]を押すと、最大5種類までのパネルサイズを入力することができます。普段使うパネルサイズを登録しておけば、登録一覧からダブルクリックするだけで入力する事も出来ます。

本ソフトウェアでは、この中から**合計金額がもっとも少なくてすむ切断方法**を探し出します。

メニュー「オプション」にて金額を非表示にしている場合や、各パネルの[金額]欄が空白の場合は、**歩留りが最も良い切断方法**を検索します。

在庫の残り少ないパネルがある場合には、[枚数制限]の欄に使用可能な枚数を指定してください。

以前に切断して半端なパネルが残っていた場合等にも活用できるでしょう。

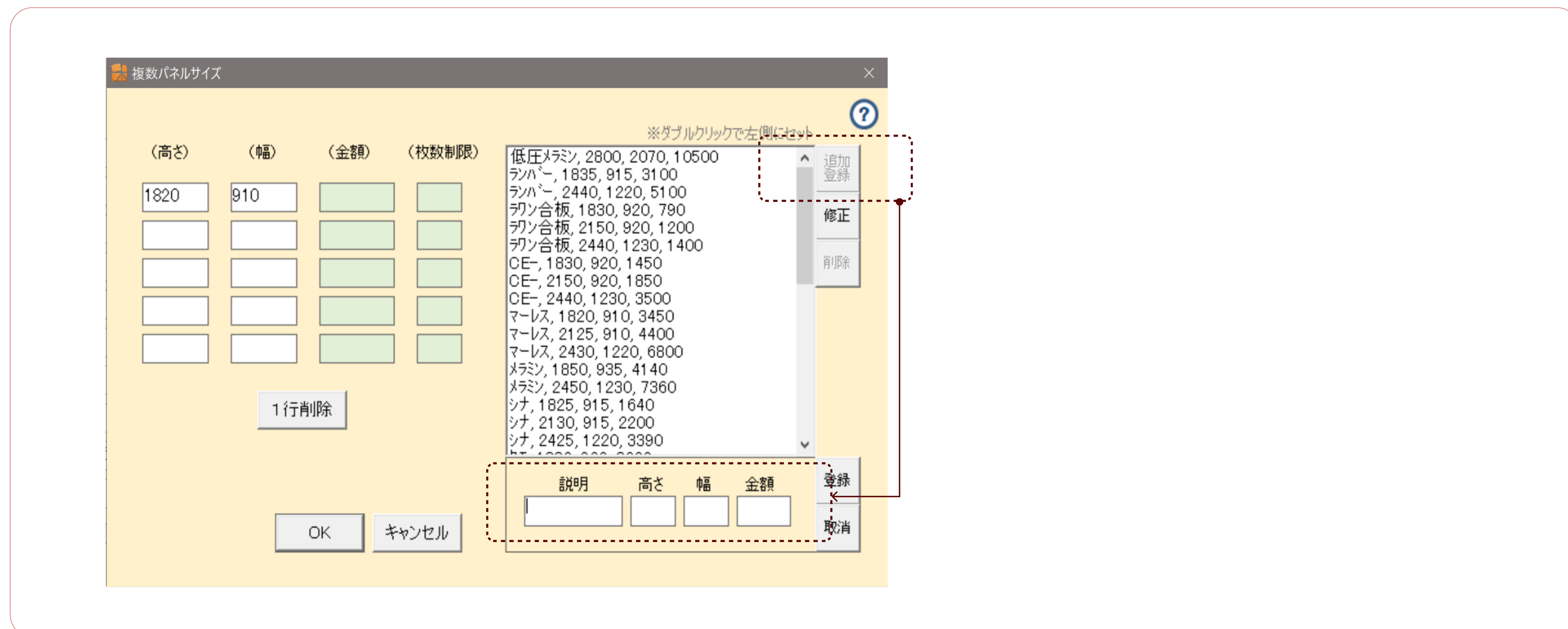


パネルサイズの登録

ボタン[追加登録]を押すと、データ入力欄が表示されます。

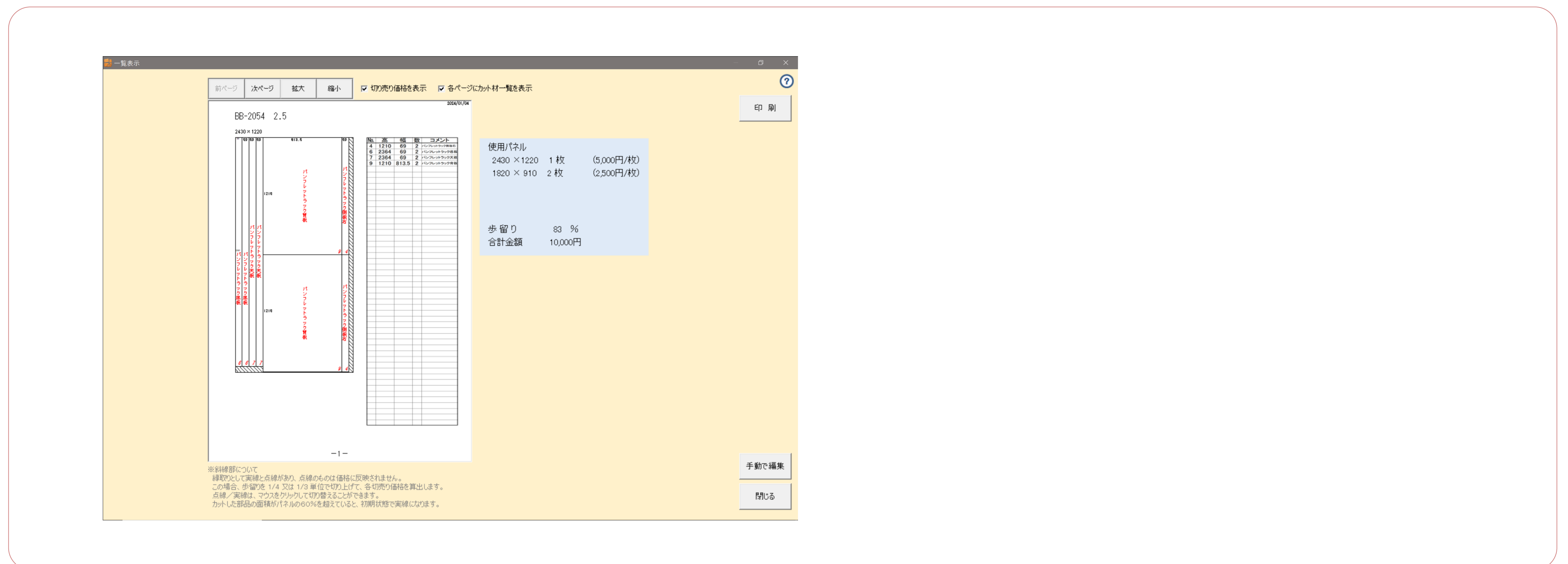
サイズ、金額等を入力した後、その上に表示されている登録一覧の中から登録したい位置をマウスで選択してください。

次に、ボタン[登録]を押すと、選択中の行の上に挿入されます。



自動割当てで印刷（一覧表示画面）

必要なパネル数と切断の仕方が一覧表示されます。



切断の仕方を変更したい場合は、ボタン[手動で編集]を押して、手動編集画面（10ページ）に遷移してください。

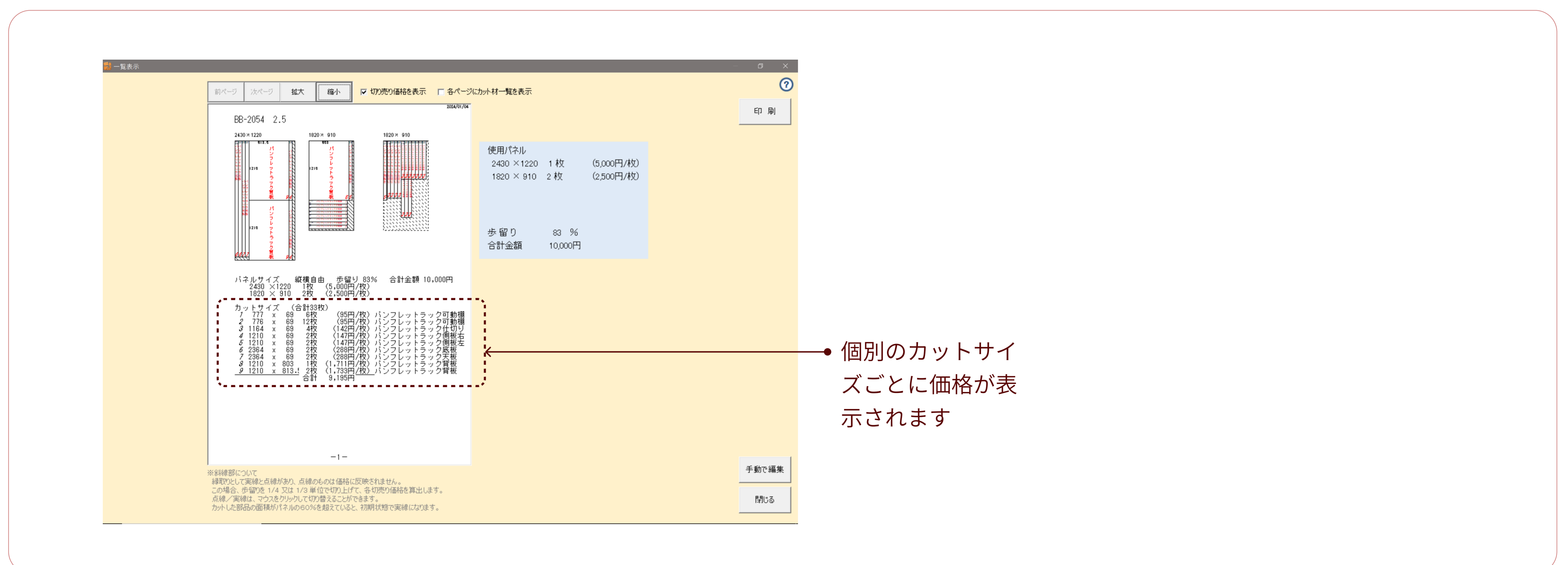
ボタン[拡大]、[縮小]を押すと、印刷するときの画像の大きさを変更することができます。

ボタン[印刷]を押すと、印刷を開始します。

切り売り価格を表示

部品をカットして販売するような場合は、カットした個々の部品の価格を面積の割合に応じて計算し、表示することが出来ます。

本機能を使うには、メニュー[オプション(O) - 金額表示(P)]にチェックを入れておき、かつ、すべてのパネルに対してあらかじめ金額を入力しておく必要があります。これにより、本画面上部のチェックボックス[切り売り価格を表示]にチェックを入れることができるようになります。



チェックを入れると、個々のカット部品の切売り価格が表示されます。

本ソフトウェアでは、カットした部品の面積がパネルの60%を越えている場合に、初期状態としてパネル1枚分の価格を全て切売り価格に反映させています。

この場合、斜線部（=割り当てたパネル以外の領域）の枠線は**実線**で囲まれます。

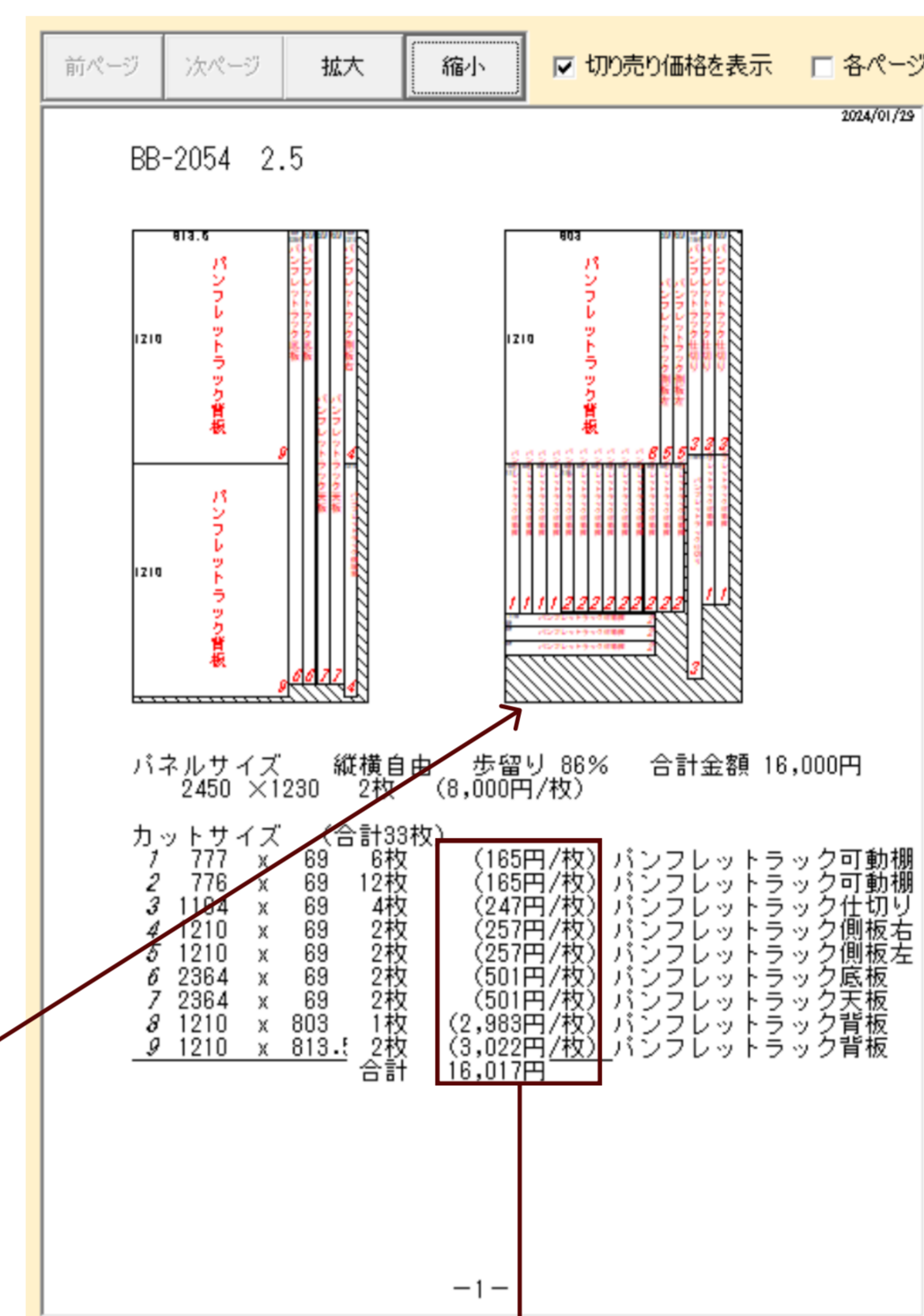
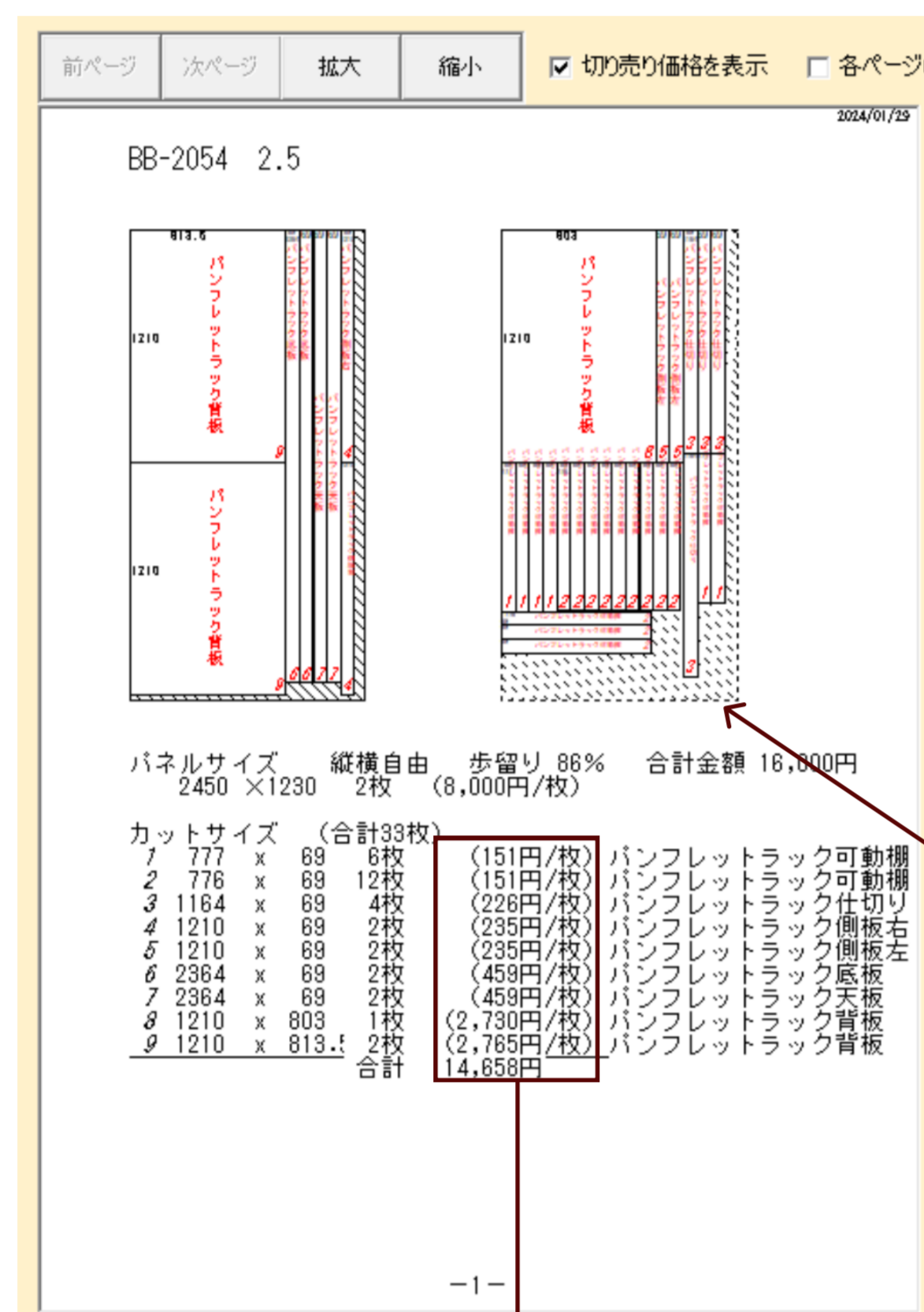
60%を越えない場合は、歩留りを4分の1単位または3分の1単位で切り上げ※1してパネル価格に乘じ、各切売り価格に反映しています。

この場合、斜線部の枠線は**点線**で囲まれます。

斜線部をマウスでクリックすることにより、実線／点線を切り替えることができます。

※1：価格算出時の歩留りは、以下のいずれかとなります。

4分の1 (=25%) 3分の1 (=33.3%) 2分の1 (=50%) 3分の2 (=66%) 4分の3 (=75%) すべて (=100%)



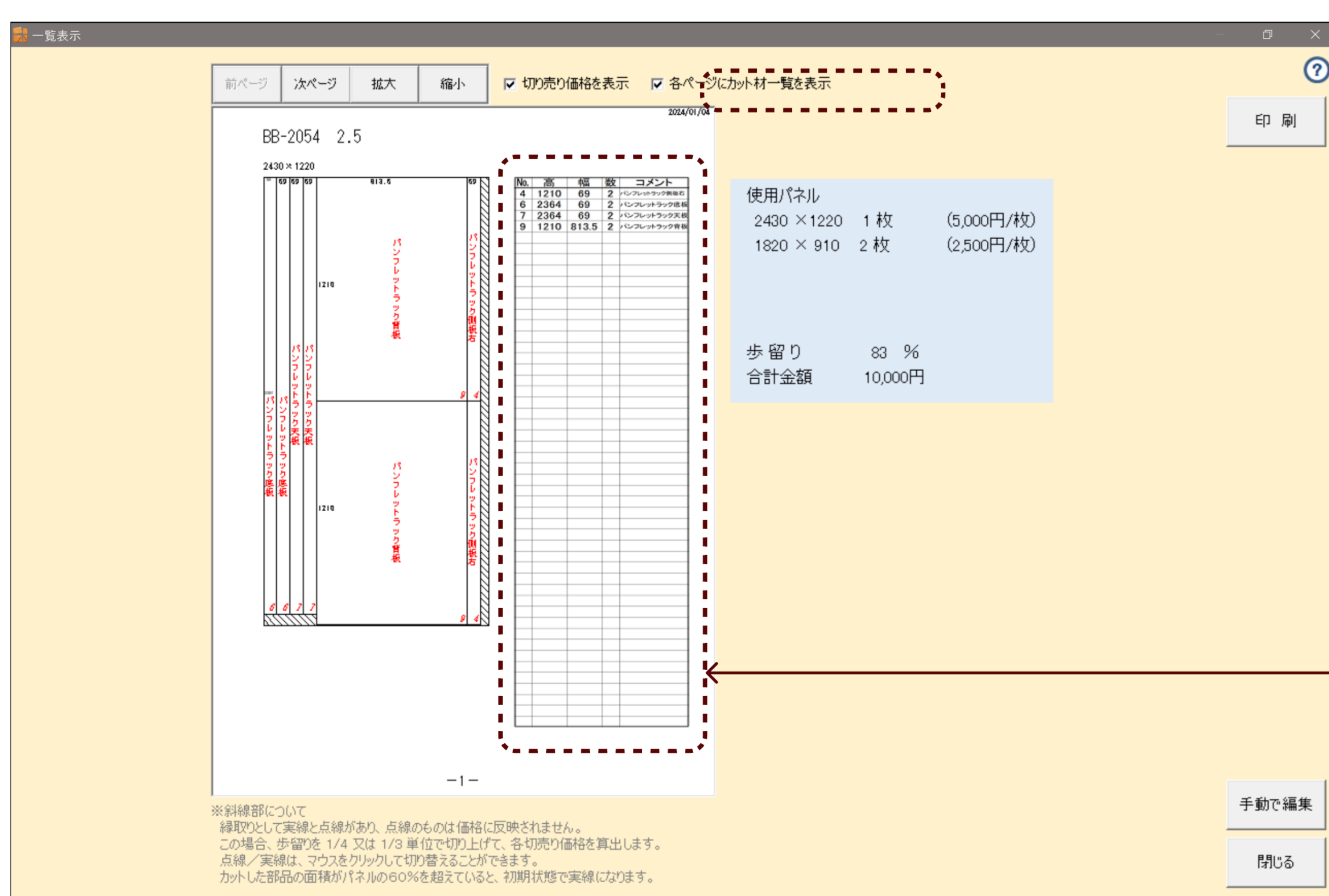
斜線部をクリックして、
実線枠/点線枠を切り替え

点線枠の場合は、斜線部の面積に応じて、パネルの価格の1/4、1/3、1/2、2/3、3/4のいずれかの価格を反映
(斜線部を次回以降に転用できると想定)

実線枠の場合は、斜線部の分も価格に反映（斜線部は廃材になるとの想定）

各ページにカット材一覧を表示

表示中のページに出現しているカット材の一覧が表示されます。



このページで出現しているカット部材の一覧が表示されます

なお、本カット材一覧には、前述の「切り売り価格を表示」のチェック状態に関わらず、価格情報は表示されません。

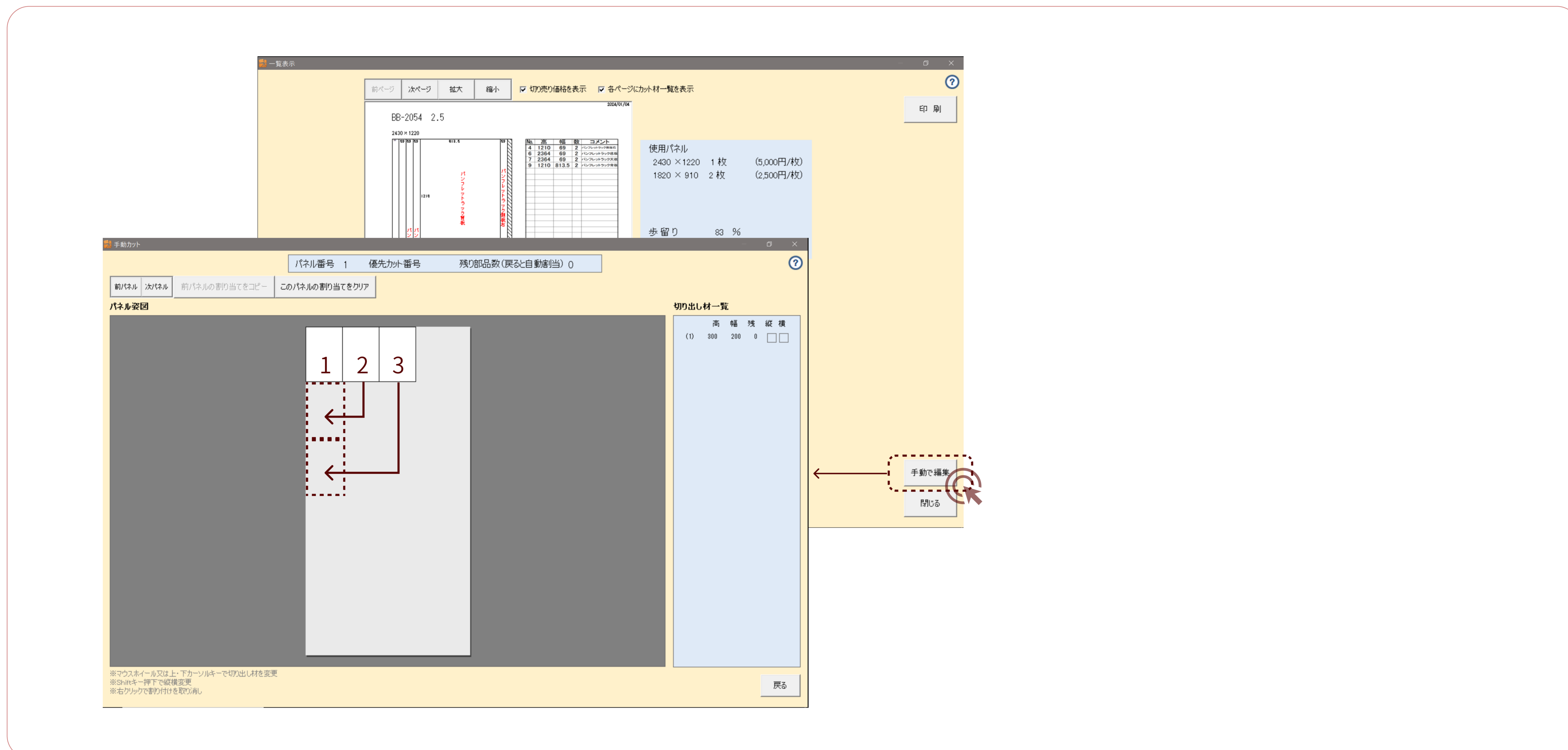
また、カット部材が49種を超える場合、49種目以降のカット材表示は省略されます。

※本チェックボックスのチェック状態に関わらず、最終ページには全カットサイズの一覧が表示されます。最終ページの全カットサイズ一覧は、「切り売り価格を表示」のチェック状態に応じた価格情報が表示され、また、省略することなく全カット部材が表示されます。

自動割当の結果を手動で修正する

自動カットの結果を一部修正することが出来ます。

例えば下図の部品2、3を移動して縦長に未使用部分を残したい場合などにご利用下さい。



操作方法

1. 編集操作を開始します。

一覧表示画面（6ページ）上のボタン[手動で編集]を押します。これにより、手動割当画面に遷移し、自動割当した結果の最終ページが表示されます。他のページを修正する場合は、ボタン[前パネル]、[次パネル]を押して遷移して下さい

2. 移動する部品を削除します。

上記の例では、部品2、部品3の上にマウスを移動して**右クリック**して下さい。

または、ボタン[このパネルの割り当てをクリア]を押すと、表示中のパネルに割り当てた部品を全て取り消し出来ます。

3. 新しい割り当て位置を指定します。

割り当てたい位置にマウスを移動して下さい。上記では部品1の下にマウスを移動して下さい。ボタン[前パネル]、[次パネル]を押して別のページに割り当てることも出来ます。

4. 割り当てる部品を選択して割り当てます。

割り当てられる部品の候補（画面右に⇒で示されている部品）が中抜き枠で表示されます。別の部品を割り当てるなら、マウスホイール、又は上下矢印キーで部品を選択して下さい。

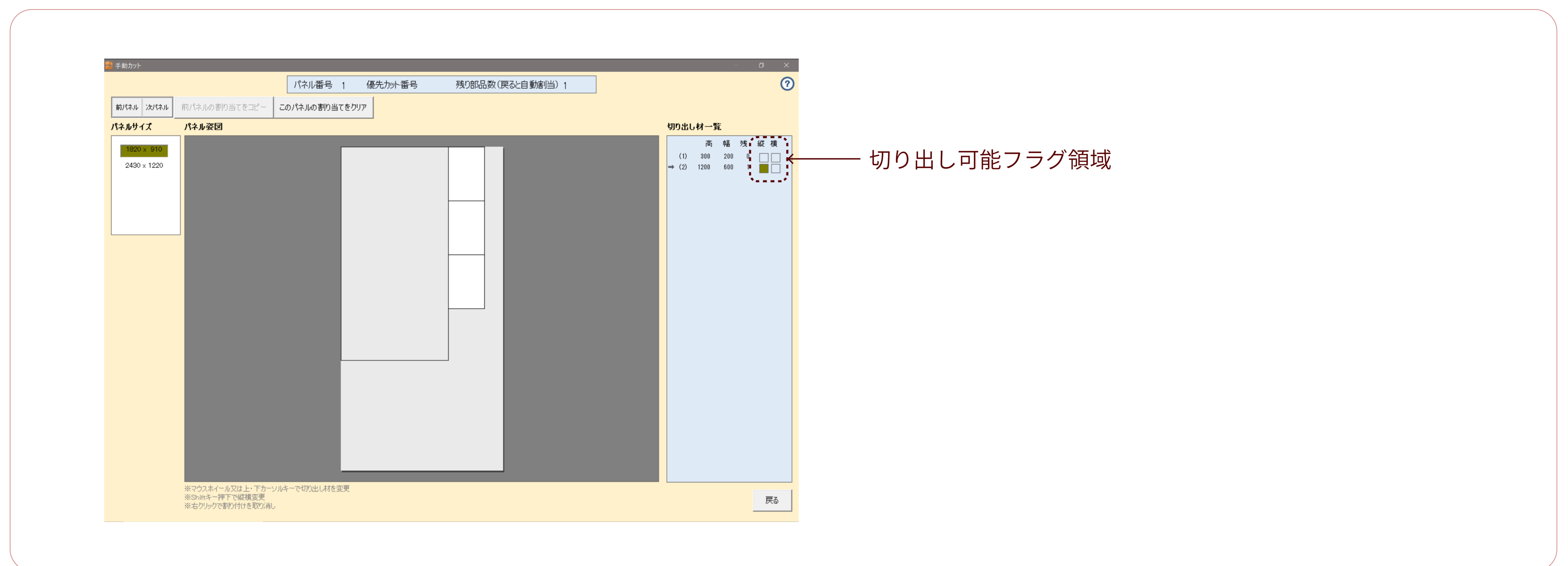
横向きに割り当てるなら、**Shiftキー**を押して下さい。

最後にマウスを**左クリック**すると選択した部品が割り当てられます。

5. 全ての部品を割り当てるまで、この操作を繰り返します。

手動割当してから印刷

パネルの切り方を、手動で指定します。

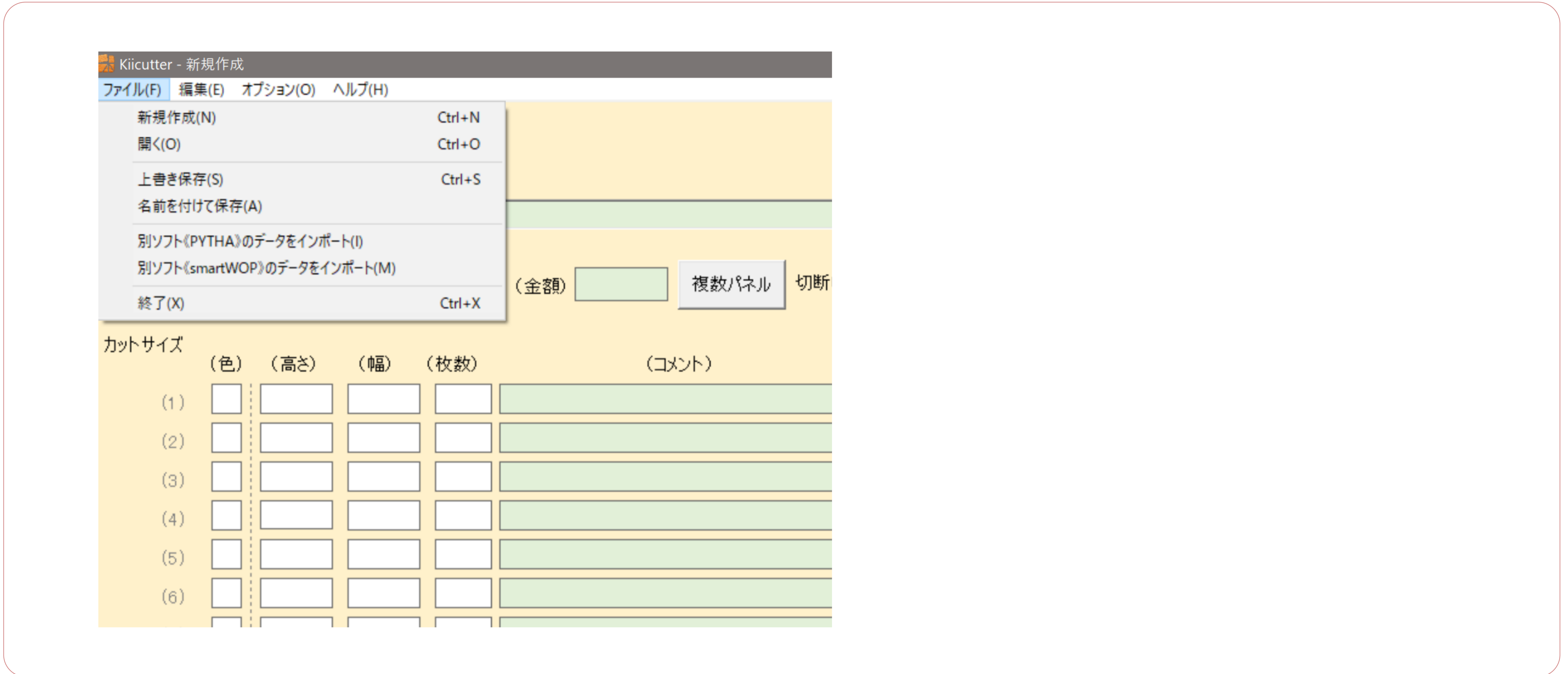


操作方法

1. 複数のパネルを使用する場合には、始めに[パネルサイズ]をクリックして大きさを決めて下さい。
2. 次にマウスを[パネル姿図]の上に移動します。
3. [切り出し可能フラグ領域]に、その位置で切り出せる部品が■で表示されます。
4. 更に、この中から⇒で示された部品の切り出しイメージが、[パネル姿図]上に中抜き枠で表示されます。
5. マウスホイール、又は上下矢印キーで⇒を切り出したい部品番号に移し、マウスを左クリックして下さい。
6. 横向きに切り出す時は、**Shiftキー**を押しながら**左クリック**して下さい。
7. 切り出した部品を**取り消し**する場合は、その部品の上にマウスを移動し、**右クリック**してください。
8. このページから切り出せる部品がなくなったら、ボタン[次パネル]を押して、新しいパネルを表示してから切り出し操作を行ってください。
9. 以上の操作を[残り部品数]が0になるまで繰り返します。
10. ボタン[印刷へ進む]を押すと、一覧表示画面（6ページ）に進みます。

ファイルの読み込みと保存

メニュー[ファイル(F) - 開く(O)]、[上書き保存(S)]、[名前を付けて保存(A)]から、本ソフトウェア用のデータファイルを読み込み又は保存することが出来ます。



ファイルの形式

本ソフトで扱うファイル形式は、拡張子が[kid]となっていますが、中身は単純なテキストファイルになっています。よって、メモ帳などを使って直接編集することも可能です。

パネルサイズが1種類するとき

“田中邸 収納家具” → 表題(省略可)
1820,910 → パネルサイズ(省略可)
2,0,0 → 切断幅, 縦横フラグ(省略可), カット 番号/寸法/コメント 図示(省略可)
1200,450,3,天板,0,0,0,0
800,450,4,側板,0,1,0,0
800,430,2,0,2,0,0 } → カット 高, カット 幅, 枚数, コメント, 縦横チェック, 番号, カラー, 図示チェック

パネルサイズが複数のとき

“田中邸 収納家具” → 表題(省略可)
“パネルサイズ”
1820,910,1200,0
2130,910,1700,0
1820,450,500,1 } → パネルサイズ, 金額, 枚数制限
“パネルサイズ”
2,0,0 → 切断幅, 縦横フラグ(省略可), カット 番号/寸法/コメント 図示(省略可)
1200,450,3,天板,0,0,0,0
800,450,4,側板,0,1,0,0
800,430,2,0,2,0,0 } → カット 高, カット 幅, 枚数, コメント, 縦横チェック, 番号, カラー, 図示チェック